

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2735731号

(45) 発行日 平成10年(1998) 4月2日

(24) 登録日 平成10年(1998) 1月9日

(51) Int.Cl.⁸
G 0 6 F 12/00

識別記号
5 2 0

F I
G 0 6 F 12/00

5 2 0 P

請求項の数 4 (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平4-60072
(22) 出願日 平成4年(1992) 3月17日
(65) 公開番号 特開平5-265824
(43) 公開日 平成5年(1993) 10月15日
審査請求日 平成5年(1993) 8月6日

前置審査

(73) 特許権者 000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地
(72) 発明者 久保田 淳市
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電
器産業株式会社内
(74) 代理人 弁理士 中島 司朗

審査官 深沢 正志

(56) 参考文献 特開 昭61-228538 (J P, A)
特開 平3-85649 (J P, A)
特開 昭58-105427 (J P, A)
特開 昭54-136241 (J P, A)
特開 昭64-13644 (J P, A)

(54) 【発明の名称】 文書処理方法および文書処理装置

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の記録媒体の媒体情報と各記録媒体内のファイル情報を対応付けて、装置内に設けた記憶手段に記憶し処理する文書処理方法であって、記憶手段に記憶してある媒体識別情報とファイル識別情報とを対応付けて表示する識別情報対応表示ステップと、記録媒体が装着される装着ステップと、記録媒体が装着されたことを検知して、該記録媒体から媒体識別情報を抽出する媒体識別ステップと、該記録媒体に記録されているファイルの内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報を抽出するファイル識別ステップと、前記ファイル識別ステップにおいて抽出されたファイル識別情報と、前記媒体識別情報とを対応付けて前記装置

2

内に設けた記憶手段に追加記憶する識別情報記憶ステップと、を実行することを特徴とする文書処理方法。

【請求項2】 複数の記録媒体に記録されているファイルの内容を処理する文書処理装置であって、前記記録媒体が取替可能に装着される情報再生手段と、前記記録媒体が装着されたことを検知して、前記記録媒体から媒体識別情報を抽出する媒体識別手段と、前記記録媒体に記録されているファイルの内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報を抽出するファイル識別手段と、前記ファイル識別手段で抽出されたファイル識別情報と、前記媒体識別情報とを対応付けて記憶する識別情報対応記憶手段と、前記識別情報対応記憶手段に記憶されている媒体識別情報とファイル識別情報とを対応付けて表示する識別情報

10

対応表示手段とを備えることを特徴とする文書処理装置。

【請求項3】 複数の記録媒体に記録されているファイルの内容を処理する文書処理装置であって、前記記録媒体が取替可能に装着され、前記記録媒体に記録されている情報を読み出すと共に、前記記録媒体の格納容器の表面に設けられた媒体識別符号を光学的に読み取る情報再生手段と、前記情報再生手段により読み出された情報からファイル識別情報を抽出するファイル識別情報抽出手段と、前記情報再生手段により読み取られた前記媒体識別符号から媒体識別情報を認識する媒体認識手段と、前記ファイル識別情報抽出手段により抽出されたファイル識別情報を一時記憶するファイル識別情報一時記憶手段と、前記媒体認識手段により認識された媒体識別情報を一時記憶する媒体識別情報一時記憶手段と、前記ファイル一時記憶手段に記憶されたファイル識別情報の内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報と、前記媒体識別情報一時記憶手段により一時記憶された媒体識別情報とを対応づけて識別情報対応テーブルに記憶する識別情報対応記録手段と、前記識別情報対応テーブルに記録されたファイル識別情報と媒体識別情報との対応を表示する識別情報対応表示手段を備えることを特徴とする文書処理装置。

【請求項4】 前記識別情報対応記憶手段は、前記媒体識別情報と前記ファイル識別情報とを、処理者が呼び出した順序に従って記憶し、前記識別情報対応記憶手段に記憶されている前記媒体識別情報と前記ファイル識別情報とが所定の数に達したとき、最先に記憶した媒体識別情報とファイル識別情報とを取り除く識別情報対応取除手段とを備えることを特徴とする請求項2記載の文書処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、取り外し可能な記録媒体に記録された文書を検索する文書処理方法および文書処理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ワードプロセッサ等の情報処理システムでは、フレキシブルディスクや光ディスク等の取り外し可能な記録媒体に多くの文書ファイルを蓄積している。通常、各記録媒体は、文書名などのファイル識別情報を集中して記録するディレクトリを保持している。そして、必要な文書がどの記録媒体に格納されているのか判らない場合、各記録媒体毎にディレクトリを読み出して表示させ、その記録媒体に格納されている文書名を確認していた。従って、各記録媒体のディレクトリを読み取るために、各記録媒体を記録媒体読み取り装置に入れ替える手間がかかっていた。また、記録媒体の交換後もデ

ィレクトリを読み取る時間が必要であり、所望する文書の所在を知るのに多大の手間と時間とがかかっていた。

【0003】このような課題を解決するものとして、従来、各記録媒体毎にディレクトリを保持すると共に、特別のディレクトリ管理用の記録媒体を用意し、この記録媒体にすべての記録媒体のディレクトリを保持する文書処理装置が提案されている（例えば特開平1-32480号参照）。この文書処理装置において、使用者が所望する文書を探す場合、まずディレクトリ管理用の記録媒体を用いてすべての記録媒体のディレクトリの中から所望する文書名を検索し、該当する文書が記録された記録媒体を知る。次に、該当する記録媒体と交換し、必要な文書ファイルを得る。すなわち、必ず2つの記録媒体を検索することにより所望の情報を得ることができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし上記従来の文書処理装置では、検索時に少なくとも1度の記録媒体の交換が必要なほか、基本的にはファイル情報を更新する度にディレクトリ管理用の記録媒体へのディレクトリ情報更新を行わなければならない、使用者に対して多くの手間と時間とを強いるという問題があった。

【0005】本発明はかかる事情に鑑みて成されたものであり、取り外し可能な記録媒体に記録された文書ファイルを容易かつ迅速に検索できる文書処理方法および文書処理装置を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、複数の記録媒体の媒体情報と各記録媒体内のファイル情報を対応付けて記憶手段に記憶し処理する文書処理方法であって、記憶手段に記憶してある媒体識別情報とファイル識別情報とを対応付けて表示する識別情報対応表示ステップと、記録媒体が装着される装着ステップと、記録媒体が装着されたことを検知して、該記録媒体から媒体識別情報を抽出する媒体識別ステップと、該記録媒体に記録されているファイルの内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報を抽出するファイル識別ステップと、前記ファイル識別ステップにおいて抽出されたファイル識別情報と、前記媒体識別情報とを対応付けて前記記憶手段に追加記憶する識別情報記憶ステップとを実行することを特徴としている。

【0007】請求項2の発明は、複数の記録媒体に記録されているファイルを検索する文書処理装置であって、前記記録媒体が取替可能に装着される情報再生手段と、前記記録媒体が装着されたことを検知して、前記記録媒体から媒体識別情報を抽出する媒体識別手段と、前記記録媒体に記録されているファイルの内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報を抽出するファイル識別手段と、前記ファイル識別手段で抽出されたファイル識別情報と、前記媒体識別情報とを対応付けて記憶する識別情報対応記憶手段と、前記識別情報対応記憶手段に

5

記憶されている媒体識別情報とファイル識別情報とを対応付けて表示する識別情報対応表示手段とを備えることを特徴としている。

【0008】請求項3の発明は、複数の記録媒体に記録されているファイル进行处理する文書処理装置であって、前記記録媒体が取替可能に装着され、前記記録媒体に記録されている情報を読み出すと共に、前記記録媒体の格納容器の表面に設けられた媒体識別符号を光学的に読み取る情報再生手段と、前記情報再生手段により読み出された情報からファイル識別情報を抽出するファイル識別情報抽出手段と、前記情報再生手段により読み取られた前記媒体識別符号から媒体識別情報を認識する媒体認識手段と、前記ファイル識別情報抽出手段により抽出されたファイル識別情報を一時記憶するファイル識別情報一時記憶手段と、前記媒体認識手段により認識された媒体識別情報を一時記憶する媒体識別情報一時記憶手段と、前記ファイル一時記憶手段に記憶されたファイル識別情報の内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報と、前記媒体識別情報一時記憶手段により一時記憶された媒体識別情報とを対応づけて識別情報対応テーブルに記憶する識別情報対応記録手段と、前記識別情報対応テーブルに記録されたファイル識別情報と媒体識別情報との対応を表示する識別情報対応表示手段とを備えることを特徴としている。

【0009】請求項4の発明は、前記識別情報対応記憶手段が、前記媒体識別情報と前記ファイル識別情報とを、処理者が呼び出した順序に従って記憶し、前記識別情報対応記憶手段に記憶されている前記媒体識別情報と前記ファイル識別情報とが所定の数に達したとき、最先に記憶した媒体識別情報とファイル識別情報とを取り除く識別情報対応取除手段とを備えることを特徴とする。

【0010】

【作用】請求項1の発明は、複数の記録媒体の媒体情報と各記録媒体内のファイル情報を対応付けて記憶手段に記憶し処理する文書処理方法であって、識別情報表示ステップは、記憶手段に記憶してある媒体情報とファイル情報とを対応づけて表示する。装着ステップは、識別情報表示ステップで表示された内容をみたオペレータが、選択された記録媒体を装着する。媒体識別ステップは、記録媒体が装着されたことを検知して、該記録媒体から媒体識別情報を抽出する。ファイル識別ステップは、該記録媒体に記録されているファイルの内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報を抽出する。識別情報対応記憶ステップは、前記ファイル識別ステップにおいて抽出されたファイル識別情報と、前記媒体識別情報とを対応づけて前記記憶手段に追加記憶する。

【0011】請求項2の発明は、複数の記録媒体に記録されているファイル进行处理する文書処理装置であって、識別情報対応記憶手段には媒体識別情報とファイル識別情報とが対応付けて記憶されており、識別情報対応表示

6

手段はこの識別情報対応記憶手段に記憶されている媒体識別情報とファイル識別情報とを対応付けて表示する。この表示内容をみてオペレータは必要なファイルを記録している記録媒体を選んで情報再生手段に装着する。媒体識別手段は記録媒体が装着されたことを検知して、記録媒体から媒体識別情報を抽出する。そして、オペレータが記録媒体からファイルを読み出すと、ファイル識別手段は前記記録媒体に記録されているファイルの内、オペレータが呼び出したファイルのファイル識別情報を抽出する。識別情報対応記憶手段は、前記ファイル識別手段で抽出されたファイル識別情報と、前記媒体識別情報とを対応付けて記憶する。

【0012】請求項3の発明は、複数の記録媒体に記録されているファイル进行处理する文書処理装置であって、識別情報対応テーブルにはファイル識別情報と媒体識別情報とが対応づけて記憶されており、識別情報対応表示手段はこの識別情報対応テーブルに記録されたファイル識別情報と媒体識別情報との対応を表示する。この表示内容を見て、オペレータは必要なファイルを記録した記録媒体を選択して情報再生手段に装着する。情報再生手段は装着された記録媒体に記録されている情報を読み出すと共に、前記記録媒体の格納容器の表面に設けられた媒体識別符号を光学的に読み取る。ファイル識別情報抽出手段はこの情報再生手段により読み出された情報からファイル識別情報を抽出する。この抽出されたファイル識別情報は、ファイル識別情報一時記憶手段により一時記憶される。一方、媒体認識手段は情報再生手段により読み取られた前記媒体識別符号から媒体識別情報を認識する。この認識された媒体識別情報は、媒体識別情報一時記憶手段により一時記憶される。そして、処理者が記録媒体からファイルを読み出すと、識別情報対応記録手段が、ファイル一時記憶手段に記憶されたファイル識別情報の内、処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報と、前記媒体識別情報一時記憶手段により一時記憶された媒体識別情報とを対応づけて識別情報対応テーブルに記憶する。

【0013】請求項4の発明において、前記識別情報対応記憶手段は、前記媒体識別情報と前記ファイル識別情報とを処理者が呼び出した順序に従って記憶する。そして、識別情報対応取除手段は、前記識別情報対応記憶手段に記憶されている前記媒体識別情報と前記ファイル識別情報とが所定の数に達したとき、最先に記憶した媒体識別情報とファイル識別情報とを取り除く。

【0014】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面を用いて詳細に説明する。

(実施例1) 図1は本発明の実施例1における文書処理装置の構成図で、この文書処理装置は、記録媒体1から情報を読み出す情報再生部2と、媒体識別情報抽出部3と、媒体識別情報一時記憶部4と、ファイル識別情報抽

出部5と、ファイル識別情報一時記憶部6と、識別情報対応テーブル7と、識別情報対応記録部8と、ファイル指示部9と、ファイル入力部10と、識別情報対応表示部11とを備えている。記録媒体1は、例えばフレキシブルディスクからなり、複数の文書ファイルが磁気記録されていると共に、媒体識別情報としてのボリューム名や、ファイル識別情報としての文書ファイル名とその文書の記録媒体1内の記録位置情報とを対応付けたディレクトリが磁気記録されている。情報再生部2は、例えばフロッピーディスクドライブ装置からなり、磁気信号を電気信号に変換する磁気ヘッドの位置を制御することにより記録媒体1から必要な情報を読み出して、2進符号データとして出力する。さらに情報再生部2は、記録媒体1の装着を検出し、新たに記録媒体1が装着されると媒体装着信号を出力する。媒体識別情報抽出部3は、情報再生部2から媒体装着信号が供給されると、情報再生部2を制御して記録媒体1に記録されている媒体識別情報であるボリューム名を読み取る。媒体識別情報一時記憶部4は、例えば半導体メモリ装置からなり、媒体識別情報抽出部3が抽出した媒体識別情報を一時記憶する。ファイル識別情報抽出部5は、情報再生部2から媒体装着信号が供給されると、情報再生部2を制御して記録媒体1に記録されているディレクトリを読み取り、その中のファイル識別情報を抽出する。ファイル識別情報一時記憶部6は、例えば半導体メモリ装置からなり、ファイル識別情報抽出部5が抽出したファイル識別情報を一時記憶する。識別情報対応テーブル7は、例えば不揮発性半導体メモリ装置により実現され、ファイル識別情報であるファイル名と、そのファイルが格納されている媒体の媒体識別情報であるボリューム名とを対応付けて記憶する。ファイル指示部9は、ファイル識別情報一時記憶部6に記憶されているファイル識別情報としてのファイル名を表示し、使用者の選択指示により、ファイル識別情報一時記憶部6中の特定のファイル名を読み出して登録すべき登録対象ファイル識別情報として出力する。識別情報対応記録部8は、媒体識別情報一時記憶部4に記憶された媒体識別情報と、ファイル指示部9からの登録対象ファイル識別情報とを相互に対応付けて、時系列順に識別情報対応テーブル7に記録する。新規登録の余地がなくなると、FIFOの制御手順で最も古く登録されたものを取り除き、その領域に登録する。ファイル入力部10は、ファイル指示部9からの登録対象ファイル識別情報に対応するファイルを、制御信号を情報再生部2に送出することにより記録媒体1中から読み出す。識別情報対応表示部11は、使用者の指示に応じて、識別情報対応テーブル7に記憶されているファイル識別情報と媒体識別情報とを、その対応に従って表示する。なお、実際にはこれ以外にも、テキスト編集のための種々の構成要素を必要とするが、本発明の要旨とは直接関係ないので説明を省略する。

【0015】次に上記文書処理装置の動作について、図2のフローチャートを参照しながら説明する。先ず識別情報対応表示部11が、識別情報対応テーブル7に記憶されているファイル識別情報と媒体識別情報とを対応付けて表示する(ステップS1)。これによりオペレータは、所望するファイルのファイル識別情報を認識して対応する媒体識別情報を知る。そしてオペレータは、認識した媒体識別情報に基づいて、管理している複数の記録媒体の中から、対応する記録媒体1を選択し、情報再生部2に装着する(ステップS2)。これにより情報再生部2が、媒体装着信号を出力する。これにより媒体識別情報抽出部3が、情報再生部2に対して、装着された記録媒体1中の媒体識別情報の読み取りを指示するために制御信号を送出し、媒体識別情報としてのボリューム名を抽出する。これにより媒体識別情報一時記憶部4が、媒体識別情報抽出部3により抽出されたボリューム名を一時記憶する(ステップS3)。一方、ファイル識別情報抽出部5が、情報再生部2から媒体装着信号を受信すると、情報再生部2に対して、装着された記録媒体1中のディレクトリファイルの読み取りを指示するための制御信号を送出し、読み出されたディレクトリファイル中のファイル識別情報を抽出する。なおディレクトリファイルは、記録媒体1中に格納されているファイルの、ファイル識別情報を含む管理情報を格納する管理ファイルである。これによりファイル識別情報一時記憶部6が、ファイル識別情報抽出部5により抽出されたファイル識別情報を一時記憶する(ステップS4)。次にファイル指示部9が、ファイル識別情報一時記憶部6に一時記憶されているファイル識別情報を表示し、オペレータの選択指示を待つ。これによりオペレータは、所望のファイルをファイル指示部9に指示する。これによりファイル指示部9が、指示されたファイルに対応するファイル識別情報をファイル入力部10および識別情報対応記録部8に出力する。次にファイル入力部10が、ファイル指示部9からのファイル識別情報に基づいて、該当する記録媒体1中のファイル情報を、情報再生部2に制御信号を送出して読み出す(ステップS5)。次に識別情報対応記録部8が、媒体識別情報一時記憶部4に一時記憶されている媒体識別情報と、ファイル識別情報一時記憶部6に一時記憶されているファイル識別情報のうちファイル指示部9からのファイル識別情報とを相互に対応付けて識別情報対応テーブル7に記録する(ステップS6)。以上の手順により、オペレータがファイル情報を読み出す度に、媒体識別情報とファイル識別情報とが識別情報対応テーブル7に記録され、順次蓄積される。

【0016】次に上記文書処理装置の具体的な使用例を簡単に説明する。さて、図3は各記録媒体の記録媒体名および各記録媒体に格納されているファイルの名称の一例の説明図で、一応は書式集、議事録、企画書などの名称で区分されているが、文書ファイルが増加したため、

「議事録1」、「議事録2」のように分類の曖昧なボリューム名を付けてしまっている。このようになると管理が難しくなるため、新しく議事録を登録、参照するときにどちらの記録媒体を使うべきかわからなくなってしまう。

【0017】これに対し、図4はこれらの文書名を最近読み出した時点で記録している識別情報対応テーブル7の内容の説明図で、本実施例1では識別情報対応表示部11を用いて表示させることができる。オペレータはまずこの表示を見て、「堺営業所91年7月」という議事録が「議事録1」という媒体に格納されていることが判り、迅速に必要な文書を手入することができる。

【0018】このように、文書を表すファイル識別情報と、記録媒体のボリューム名を表す媒体識別情報とを相互に対応付けて、不揮発性の半導体メモリ装置により実現される識別情報対応テーブル7に記録することにより、必要な文書ファイルが含まれている記録媒体を迅速に捜し出すことができる。また本実施例のように、識別情報対応テーブル7への情報の記録にFIFO方式を用いれば、使用頻度の高い文書ファイルを、管理用の記録媒体をアクセスすることなく必要最小限の記録媒体アクセスで得ることができる。

【0019】なお上記実施例1においては、ファイルの読み込み指示により媒体識別情報とファイル識別情報とを識別情報対応テーブル7に記録するように構成したが、ファイルの更新、追加、登録指示等のタイミングで記録するように構成してもよい。また上記実施例1においては、特定のファイルについて媒体識別情報とファイル識別情報とを識別情報対応テーブル7に記録するように構成したが、記録媒体1中のファイル識別情報をすべて一括して識別情報対応テーブル7に記録するように構成してもよい。

【0020】また上記実施例1においては、媒体識別情報とファイル識別情報とを識別情報対応テーブル7にFIFO方式で記録したが、例えば自動的に削除しないようにする等、他の方式で記録してもよい。また上記実施例1においては、識別情報対応表示部11が媒体識別情報と対応するファイル識別情報を時系列的に表示するように構成したが、ファイル識別情報順、あるいは媒体識別情報順に並べて表示するように構成してもよい。

(実施例2) 図5は本発明の実施例2における文書処理装置の構成図で、この文書処理装置は、記録媒体13から情報を読み出すと共に媒体識別符号を光学的に読み取る情報再生部14と、媒体認識部15と、媒体識別情報一時記憶部4と、ファイル識別情報抽出部5と、ファイル識別情報一時記憶部6と、識別情報対応テーブル7と、識別情報対応記録部8と、ファイル指示部9と、ファイル入力部10と、識別情報対応表示部11とを備えている。記録媒体13は、例えばフレキシブルディスクからなり、複数の文書ファイルが磁気記録されていると

共に、媒体識別情報としてのボリューム名や、ファイル識別情報としての文書ファイル名とその文書の記録媒体13内の記録位置情報とを対応付けたディレクトリが磁気記録されている。そして図6のように、記録媒体13の格納容器16の表面には、記録媒体13を識別する媒体番号に対応するバーコード17が設けられている。このバーコード17は、バーコード17に対応する番号と共にディスクラベル18に印刷されており、ディスクラベル18が格納容器16に貼付されている。情報再生部14は、格納容器16表面のバーコード17を光学的に読み取る。媒体認識部15は、情報再生部14により読み取られたバーコード17を認識し、バーコード17に対応する番号、すなわち媒体番号を得て、これを媒体識別情報として管理する。他の構成は実施例1の文書処理装置と同様である。

【0021】次に動作を説明する。まず識別情報対応表示部11が、識別情報対応テーブル7に記憶されているファイル識別情報と媒体識別情報とを対応付けて表示する。これによりオペレータは、所望するファイルのファイル識別情報を認識して対応する媒体識別情報を知る。そしてオペレータは、認識した媒体識別情報に基づいて、管理している複数の記録媒体の中から、所望のファイルが記録されている記録媒体13を選択し、情報再生部14に装着する。これにより情報再生部14が、媒体装着信号を出力する。これにより媒体認識部15が、情報再生部2に対して、装着された記録媒体1の格納容器16表面のバーコード17の読み取りを指示するために制御信号を送出し、媒体識別情報としてのボリューム名を認識する。これにより媒体識別情報一時記憶部4が、媒体認識部15により認識されたボリューム名を一時記憶する。一方、ファイル識別情報抽出部5が、情報再生部14から媒体装着信号を受信すると、情報再生部14に対して、装着された記録媒体1中のディレクトリファイルの読み取りを指示するための制御信号を送出し、読み出されたディレクトリファイル中のファイル識別情報を抽出する。これによりファイル識別情報一時記憶部6が、ファイル識別情報抽出部5により抽出されたファイル識別情報を一時記憶する。次にファイル指示部9が、ファイル識別情報一時記憶部6に一時記憶されているファイル識別情報を表示し、オペレータの選択指示を待つ。これによりオペレータは、所望のファイルをファイル指示部9に指示する。これによりファイル指示部9が、指示されたファイルに対応するファイル識別情報をファイル入力部10および識別情報対応記録部8に出力する。次にファイル入力部10が、ファイル指示部9からのファイル識別情報に基づいて、該当する記録媒体13内のファイル情報を、情報再生部14に制御信号を送出して読み出す。次に識別情報対応記録部8が、媒体識別情報一時記憶部4に一時記憶されている媒体識別情報と、ファイル識別情報一時記憶部6に一時記憶されてい

11

るファイル識別情報のうちファイル指示部9からのファイル識別情報とを、相互に対応付けて識別情報対応テーブル7に記録する。

【0022】このように、文書を表すファイル識別情報と、格納容器16表面にバーコード17で表現される媒体番号すなわち媒体識別情報とを、相互に対応付けて識別情報対応テーブル7に記録するので、必要な文書ファイルが記録されている記録媒体13を迅速に捜し出すことができる。また本実施例のように、バーコード17に対応する番号を印刷したディスクラベル18を記録媒体13の格納容器16に貼付するように構成すれば、使用に先立って記録媒体13にボリューム名を記録しておく手間が不要であり、計算機に馴れない使用者でも簡単に媒体識別情報を記録媒体13に対して設定することができる。

【0023】以上説明したように請求項1又は2記載の発明によれば、記録媒体から媒体識別情報とファイル識別情報とを抽出し、これら媒体識別情報と処理者が呼び出したファイルのファイル識別情報とを対応づけて記憶していき、この記憶した媒体識別情報とファイル識別情報とを対応づけて表示する。これにより、取り替え可能な記録媒体に記録されている文書の検索を、容易かつ迅速に行うことができる。請求項3の発明によれば、媒体識別情報を更に容易に抽出できる。請求項4の発明によれば、検索情報として古くなった最先に記録させた媒体識別情報とファイル識別情報とを取り除いて新たに利用した媒体識別情報とファイル識別情報とを対応付けて記憶させるので、利用価値の高い検索情報が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図4】

ファイル識別情報	媒体識別情報
91年10月定例会議	議事録1
発表許可願	書式集1
αβγプロジェクト91年	企画書1
守口宮業書91年9月	議事録2
通勤手当変更願	書式集1
91年8月定例会議	議事録2
神戸支店91年8月	議事録2
堺宮業所91年7月	議事録1
：	：

12

【図1】本発明の実施例1における文書処理装置の構成図である。

【図2】本発明の実施例1における文書処理装置の動作を説明するフローチャートである。

【図3】記録媒体に記録されている識別情報の内容の説明図である。

【図4】識別情報対応テーブルの記憶内容の説明図である。

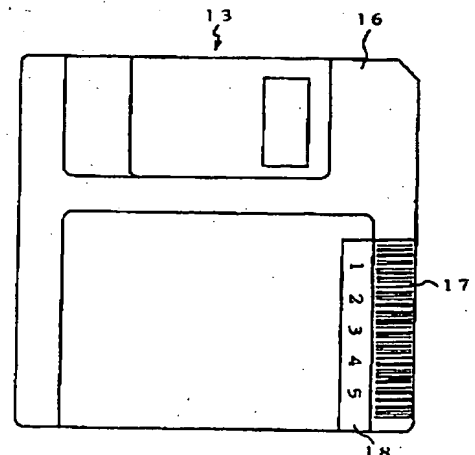
【図5】本発明の実施例2における文書処理装置の構成図である。

【図6】本発明の実施例2における文書処理装置に使用する記録媒体の正面図である。

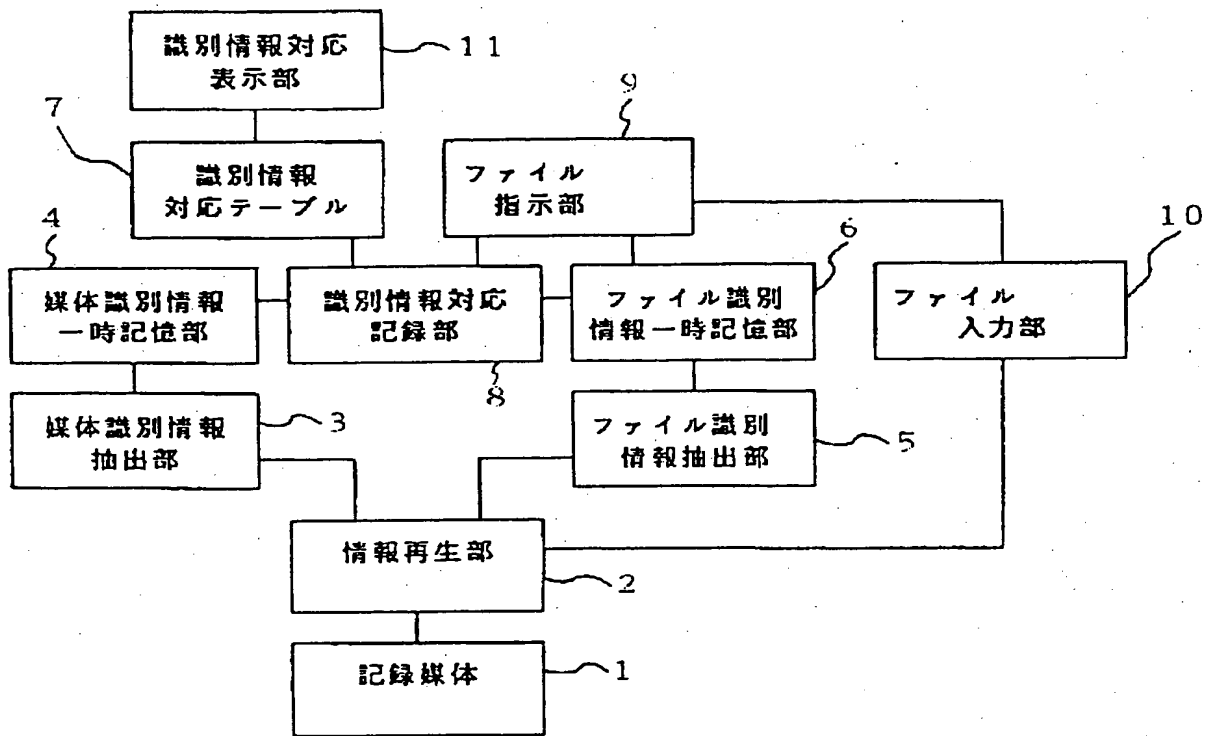
【符号の説明】

- 1 記録媒体
- 2 情報再生部
- 3 媒体識別情報抽出部
- 4 媒体識別情報一時記憶部
- 5 ファイル識別情報抽出部
- 6 ファイル識別情報一時記憶部
- 7 識別情報対応テーブル
- 8 識別情報対応記録部
- 9 ファイル指示部
- 10 ファイル入力部
- 11 識別情報対応表示部
- 13 記録媒体
- 14 情報再生部
- 15 媒体認識部
- 16 格納容器
- 17 バーコード

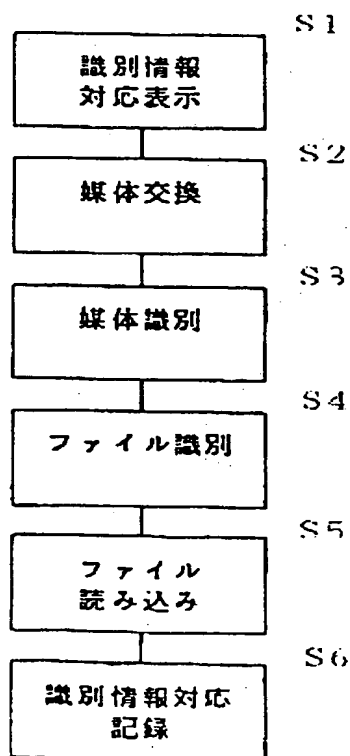
【図6】



【図1】



【図2】



【図3】

媒体識別情報	ファイル識別情報
書式集 1	通勤手当変更願い : 総合計画書 テーマ企画書 発表許可願い
媒体識別情報	ファイル識別情報
議事録 1	88年8月定例会議 : 91年9月定例会議 堺宮業所91年7月 91年10月定例会議
媒体識別情報	ファイル識別情報
議事録 2	大阪営業所91年5月 神戸支店91年8月 91年8月定例会議 守口営業所91年9月
媒体識別情報	ファイル識別情報
企画書 1	A B Cプロジェクト88年 いろはプロジェクト90年 αβγプロジェクト91年

【図5】

